

# ミライの農業をつくるオンライン講座 授業活用プラン 「放牧酪農」編 90分ver



## 【教員】



授業活用プラン  
(本紙)



先生向け  
手引き

## 【学生/生徒】



ワークシート (A3片面印刷推奨)

## 【授業の目的】

- 畜産業において環境負荷軽減と経営の両立をする方法を学ぶ。

## 【授業のゴール】

- 酪農の作業の効率化や環境への負荷軽減を可能にする放牧の仕組みを理解する。
- 牛の生態や牧草の特徴と環境負荷軽減策との関連性を理解する。

## 【授業前に準備しておくこと】

- 動画視聴環境の確認 (先生向け手引きを参照)

活動(時間)	教員の指導	学生/生徒の活動	使用するもの
【はじめに】 3分	学生/生徒の授業準備ができているかを確認する。 今日の授業の目的とゴール、これまでの授業との関連を簡単に説明する。	ワークシート・アンケートが手元にあることを確認する。	
【講座視聴】 3分	<b>プロローグ</b> <b>環境調和と経営の両立を実現！ミライの農業を学ぶオンライン講座</b> (動画視聴：0:00～2:40)	講座を視聴する。	YouTube動画
【講座視聴】 11分	<b>放牧酪農①</b> <b>放牧酪農とはどんな酪農？</b> (動画視聴：0:00～10:25)	講座を視聴する。	YouTube動画
【おさらい】 2分	動画のポイントを簡単に振り返る。 ・ 舍飼いで行われるエサやりや糞尿の処理といった作業が、放牧では牛自身が放牧地で草を食べ排泄する循環があることで軽減される。 ・ 機械作業が軽減されると二酸化炭素排出量が軽減する等環境負荷軽減につながる。 ・ 牛の食べ物が牧草中心となり、自由に動き回ることができるので、健康にも良い。		
【講座視聴】 14分	<b>放牧酪農②</b> <b>放牧方法と放牧牛乳がお客様に届くまで</b> (動画視聴：0:00～13:13)	講座を視聴する。	YouTube動画
【おさらい】 2分	動画のポイントを簡単に振り返る。 ・ 放牧にもいくつか方法があり、輪換放牧では放牧地を柵で区切って牛を移動させることで、牛に効率的に牧草を食べさせることができる。 ・ 牛乳の販売に限らないイベント等を企画することで新しい顧客の獲得やお店自体のファンを増やすことにつながる。		

ミライの農業をつくるオンライン講座 授業活用プラン  
「放牧酪農」編 90分ver



活動 (時間)	教員の指導	学生/生徒の活動	使用するもの
【個人ワーク】 5分	ワークシート左ページの復習1 「動画内で紹介されていた放牧の種類について、以下の文章に当てはまる言葉を入れましょう。」に取り組むよう伝える。  学生/生徒の記入が終わった頃に解答を伝える。	ワークシートに取り組む。	ワークシート
【個人ワーク】 5分	ワークシート右ページのQ1 「動画を見て初めて知ったこと・驚いたこと・印象に残ったことを書き出してみよう。」に取り組むよう伝える。	ワークシートに取り組む。	ワークシート
【グループワーク】 10分	上記で記入したことを3~4人のグループに分かれて共有し、気づいたことをワークシート右ページのDiscussion 「上記で書いたことを近くの人と共有してみましよう。他の人の意見を聞いて新しく気づいたことがあれば書きましよう。」に記載するよう伝える。	3~4人のグループで話し、ワークシートに取り組む。	ワークシート
【講座視聴】 13分	<b>放牧酪農③</b> <b>放牧牛と牧草から環境を考える</b> (動画視聴：0:00~12:54)	講座を視聴する。	YouTube動画
【個人ワーク】 7分	ワークシート左ページの復習2 「牛の消化について以下の文章に当てはまる言葉を入れましょう。」に取り組むよう伝える。  学生/生徒の記入が終わった頃に解答を伝える。	ワークシートに取り組む。	ワークシート
【個人ワーク】 10分	ワークシート右ページのQ2 「舎飼いと放牧で酪農を行う場合のメリットを「労働」「牛の健康管理」「環境」の観点からそれぞれ考えてみましょう。」に取り組むよう伝える。  学生/生徒の記入が終わったら、任意で数名を指名して解答してもらった後、解答例を伝える。	ワークシートに取り組む。	ワークシート
【まとめ】 3分	本日のまとめを伝える。 ・放牧を活用することで、人の労働や飼料費の削減といった経営的メリット、資源の循環活用や二酸化炭素排出量の削減といった環境的なメリット、牛が健康に育つというメリットがある。 ・放牧の実践のためには、牛の体の仕組みの理解を深め、牧草地の管理方法を学んでいくことが必要。		
【アンケート】 2分	アンケートを記入するよう伝える。	アンケートを記入する。	アンケート